

かがみはらの歴史事件簿



みんなが住んでいる各務原市では、古代から今まで、た〜くさんの事件が起こっているら。みんな、ららら探偵といっしょに、各務原市の歴史に隠された事件を調べるら！

100m越え！各務原に巨大古墳出現

約1750年前、日本各地に、土を盛って作った大きなお墓が出現しました。「古墳」です。いろいろな形、規模の古墳が、地域の支配者や有力者のために作られました。

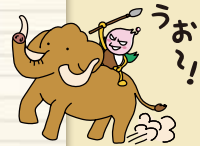
各務原にも、600以上の古墳が作られました。古墳時代はじめには、市内最大、120mの坊の塚古墳(鷺沼羽場町)や、山を利用して作られた82mの柄山古墳(那加柄山町)などの巨大な前方後円墳が出現。しかし、古墳時代が終わりに近づくと、巨大な古墳は姿を消し、10mほどの小さな円墳が、山のふもとに数多く作られるようになります。



各務原に人あらわる！

この各務原に初めて人が住み始めたのは、約2万年前。この旧石器時代には、人々は石で作った石器を使い、動物を持ってくらしていました。そして、約1万年前の縄文時代には、石器に加え、粘土を焼いて作った縄文土器を使うようになります。

各務原市では、旧石器時代や縄文時代の遺跡が、市の中央に広がる各務原台地の上で見つかっています。その後、弥生時代になり米作りが伝わると、人々は稲作に不向きな各務原台地を離れ、その周辺の川の近くに集落をつくるようになります。



鷺沼宿に

姫がやってきた！

鷺沼宿は、江戸時代の街道「中山道」52番目の宿場町。「姫街道」とも呼ばれ、京都から江戸の將軍のもとへ嫁入りする姫君たちが、盛大な行列で中山道を彩りました。

中でも1861年、第14代将軍・徳川家茂に嫁いだ和宮の行列は、約2万人、全長約50km！鷺沼宿で和宮は昼食をとりました。気になるメニューは、焼いたボラや、野菜を添えたサヨリ、しょうがのあんをかけた赤貝など。海から離れた各務原ですが、海産物の多い特別メニューでした。

和宮他にも、「俳聖」松尾芭蕉や、日本地図を作った伊能忠敬など、鷺沼宿には数多くの有名人が訪れています。

LET'S GO! 行ってみよう

陵南小学校では、校庭に「大牧一号古墳」という前方後円墳を見ることができます。古墳からは鉄製の小刀や鏡、馬に乗るための馬具などが、石で作られた棺とともに見つかっています。

【鷺沼大伊木町】

LET'S GO! 行ってみよう

鷺沼三ツ池町にある伊弉連跡は、今から約4500年前の縄文時代の遺跡です。調査により数多くの土器や石器、10軒の住居(家)跡が見つかりました。遺跡は公園として、かつての姿に復元された住居を見ることができま。

【鷺沼三ツ池町】

LET'S GO! 行ってみよう

現在の鷺沼宿は、当時の建物など、江戸時代の雰囲気を感じることができる場所に整備されています。伊能忠敬が鷺沼宿を訪れた際に食べたという、「ぬぶか雑炊」を味わうこともできます。

【鷺沼西町・東町】



打倒！ペリー 大砲練習場が飛行場へ

現在、航空自衛隊岐阜基地がある各務原市の中央部は、江戸時代まで何もない広い草原でした。

江戸時代の終わり、前渡村を治めていた旗本の坪内氏は、この「各務野」を得意な大砲の練習場に使っていました。1853年、アメリカのペリーが黒船を引きつれ日本に押し寄せると、坪内氏は「何かあれば大砲を持って江戸へ駆けつける」と幕府に伝え、各務野で大砲の腕を磨きました。

明治に入ると、各務野は大砲の練習場としては使われなくなり、1917年、日本2番目の飛行場として「各務ヶ原飛行場」が誕生。周辺には飛行機を作る会社や工場などが次々と作られ、現在の「ものづくりのまち」各務原のベースが形作られました。

LET'S GO! 行ってみよう

飛行場や工場があるため、1945年、太平洋戦争で各務原は米軍の空襲を受けました。木曾川文化史料館にある「各務原空襲資料室」では、空襲や戦時中のくらしなどを学ぶことができます。【川島松倉町】



大正8年の各務ヶ原飛行場

幕府×朝廷 決戦は各務原

鎌倉幕府を開いた源氏の将軍がわずか3代で絶えると、幕府と朝廷との間で、日本を二分する大きな争いが起きました。1221年のこの「承久の乱」で、高軍の主力が激突したのが前渡です。

当時、前渡は木曾川を渡るための渡し場のひとつ。川をはさんで、各務原側の朝廷軍1万に対し、幕府軍は、10万の兵のうち総大将の北条泰時らが木曾川を渡って攻め込みました。

戦いは幕府軍の圧倒的勝利に終わりました。その多くが朝廷軍に加わっていた美濃の武士たちは、領地の没収や島流しなど、大きな痛手を受けることになりました。

LET'S GO! 行ってみよう

前渡東町の矢熊山に、「承久の乱合戦供養塔」があります。承久の乱で倒れた兵士たちのために作られた石塔を、一か所に集めたものです。戦いがあった木曾川を見下ろす石塔の数の多さが、戦いの激しさを今に伝えています。【前渡東町】



承久の乱合戦供養塔

襲来！織田信長

戦国時代を代表する武将、織田信長。当時、最新の武器だった鉄砲を駆使し、尾張(現在の愛知県西部)の一国から、天下統一を目指しました。

信長は、京の都に近く、交通や物流の拠点となる美濃に何度も侵襲しました。1565年に犬山城を攻め落としたり、対岸の伊木山に陣をかまると、鷺沼城と猪塚城(坂祝町)の2城をまたぐ間に制圧。その後、各務原周辺の城を次々と攻め落としました。

1567年、ついに稲葉山城と美濃を手にした信長は、土地と城の名前を「岐阜」と改名。この岐阜城を拠点に天下統一へ向かっていきました。

LET'S GO! 行ってみよう

那加手力町にある手力神社には、信長ゆかりの文化財が多く残っています。信長が弓や箭を置いたという桜の木や、兵士たちに神社内での乱暴を禁止した文書(※)などが神社に伝わっています。 ※通常、見ることはできません 【那加手力町】



織田信長御用

ウェブサイトでは、事件についてもっと

詳しく紹介してるら！

←このQRコードを読み込めら。

